All campaigns

202408KeMCo

sent

View report

Campaign Preview HTML Source Plain-Text Email Details

View this email in your browser

KeMCo

三原聡一郎《0.1㎡》2024年
撮影：村松桂（カロワークス）

展覧会「三原聡一郎　レシピ：空気の芸術」は8月3日（土）で終了です。
最終日の3日（土）は土曜特別開館を行います。平日はお仕事や学校で来られない方は、ぜひこの機会をお見逃しなく。

KeMCoの近況

【8月3日（土）まで】「三原聡一郎　レシピ：空気の芸術」

撮影：村松桂（カロワークス）

身の回りの様々な物質や現象を芸術に読みかえる制作を行うアーティスト、三原聡一郎。三原は、メディアアートの基盤となる民主化されたテクノロジーの視点・方法を介在させながら、環境に呼応する「開かれた系（システム）」のあり方をインスタレーションとして提示してきました。本展覧会では、近年の三原の制作活動を一望するとともに、作品の根幹を「レシピ」としてアーカイヴ化していく試みを展示します。加えて、KeMCoと三原が昨年度より共働してきた、コンポスト・プロジェクトや慶應義塾中等部との「物質循環」ワークショップの実践も紹介します。見えない対象を作品化し、それを自ら記述するアーティストの思考と実践をお楽しみください。

「三原聡一郎　レシピ：空気の芸術」

会期｜2024年6月3日（月）－8月3日（土）［土日祝休館］11：00〜18：00
特別開館｜8月3日（土）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
特別協力｜株式会社ニソール
協力｜株式会社田村商店
京都芸術センター 制作支援事業

展覧会記録集年内刊行（予定）
＊展示作品および関連イベントを網羅した記録書籍を刊行予定です。

アーティスト・トーク「三原聡一郎×ドミニク・チェン」アーカイヴ公開中

展覧会と作品について、また今回の展示で初公開となった「レシピ」を中心にオープンカルチャーと制作実践の循環などについてトークを繰り広げました。
以下よりアーカイヴ動画を公開しております。

三原聡一郎
レシピ：空
術
Soichiro Miha
Recipe: Art
Ke M Co
み展アーティストトーク｜三原聡一郎×ドミニク・チェン

三原聡一郎　レシピ：空気の芸術

【次回展】Land-scape－お持ち帰りできる風景

Vedute fotografiche italiane, 1882 年, 個人蔵

四季のめぐりとともに常に変化し続ける風景を楽しむために、古くから現代まで、私たちは風景の在る場所に絶え間なく足を運んできました。その一方で、中世より、書物や版

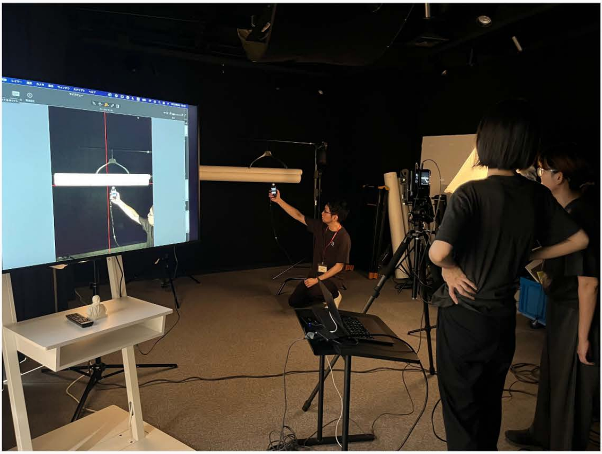
画、そして写真といった複製技術を用いて、動かぬ風景の諸相を再構築し、再創造する営みを続けてきました。
本展覧会は、西洋中世の写本装飾に見る風景前史から始まり、近代旅行記が伝えた異国の風景、理想風景とグランド・ツアー、ピクチャレスクの旅、葉書で送られる風景といった7つのテーマのもと、写本や稀覯本（きこうぼん）、版画や写真、絵葉書や旅の道具などの紹介を通じて、みなさんを「お持ち帰りできる風景」を見出す旅にご招待します。

「Land-scape－お持ち帰りできる風景」

会期｜2024年10月7日（月）～12月6日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜10月19日（土）、11月23日（土）
臨時休館｜10月21日（月）、11月25日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学三田メディアセンター

Land-scape－お持ち帰りできる風景

KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2024を開催しました



7月23日（火）と24日（水）の2日間で「KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2024」を開催しました。
慶應義塾の教職員のお手元にある研究・教育コレクションをKeMCoのスタジオで文化財の撮影を専門とするフォトグラファーが撮影するイベントです。
2022年から始まり、3回目となる今年度は、絵画や古写真といったスタンダードな資料か

ら、高級ブランドの衣服まで、様々なお宝（！）を持ち寄っていただき撮影しました。
ご参加いただいた方、情報発信にご協力をいただいたみなさま方に厚くお礼を申し上げます。

KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2024

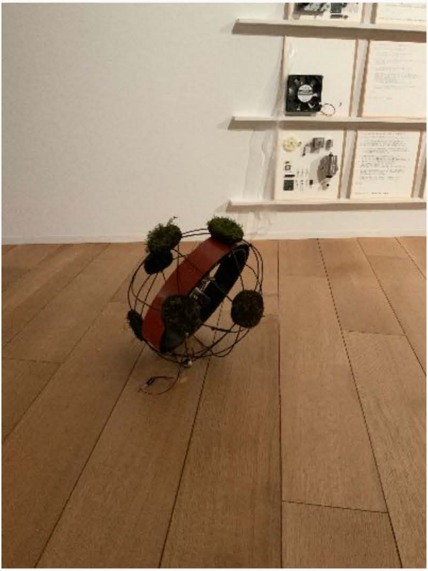
展示室より、推しモノ #30

三原聡一郎《7m^3》2024年
撮影：村松桂（カロワークス）

「三原聡一郎 レシピ：空気の芸術」展、通称「#み展」も、残すところあと3日になりました。みなさんもうご覧いただけたでしょうか。
この展覧会では、3Fの展示室だけではなく、エントランス、階段の踊り場などKeMCo全体に三原さんの作品が展示されています。三原さんが展示設営中に、そして7月8日に開催されたドミニク・チェンさんとの対談（https://youtu.be/mJjALV_64jo）でも「KeMCoが自分の家（うち）のように思えてきた」と言っていたのが印象に残っているのですが、その言葉の通り、KeMCoの建物に三原さんの作品が棲んでいるような感じがしています。
とくに、これまでの三原さんの作品が集合した Room 1 は、作品の棲家と化しているように思います。薄暗い部屋のそこかしこで、思い思いに動く作品たち。なかでも、ガラスケースの中でフィルムが踊る《14m^3》《7m^3》は気がつくと見入ったまま立ち尽くしてしまうような不思議な作品です。
KeMCoに棲む三原作品の日々の様子は、#み展観察日記 と銘打ってX（旧Twitter）https://x.com/hashtag/%E3%81%BF%E5%B1%95%E8%A6%B3%E5%AF%9F%E6%97%A5%E8%A8%98 と Note https://kemco-keio.note.jp/m/m5f1a795d71f3 で発信しています。こちらも是非ご覧下さい！

本間 友（KeMCo専任講師）

空き地



ミュージアムで働く方たちの中には、作品や資料を「あのこ」と擬人化して呼ぶ方が時々いらっしゃいます。作品への愛着がよく感じられる言い回しですが、私はほとんど使うことはありませんでした。
さて、前回の『KeMCo Voice Vol.46』（7月号）でもご紹介しましたが、開催中の展覧会「三原聡一郎　レシピ：空気の芸術」では、作品の観察日記をつけています。私の担当作品は《コスモス》（2014-）で、生命による発電エネルギーをもって苔玉に歌って踊らせることを目指し、三原氏が現在も実験中の作品です。本展における特徴は「展示場所が決まっていない」こと。展示室を覗くと、いつも違う場所に作品が据えられています。
日々作品を観察していると、まるっとしたフォルムや展示室を動き回っている（実際は学芸員が運んでいるのですが）イメージからなんともいえないかわいらしさや愛着を感じて、作品を「あのこ」と呼びたくなる気持ちはこれか？と思い至り、自分の中に生まれる新しい感覚を見つける日々でもありました。
展覧会が終わるまで、あと2日です。もしや、あと2日でコスモスは急成長を遂げて、歌って踊り始めるかもしれない？そんなことまで考えてしまう展覧会でした。

眞下 菜穂（KeMCo）

お知らせ

三田キャンパスでご覧いただける展示

2024年度春季企画展　慶應義塾と戦争——モノから人へ——
前期：6月18日（火）～7月20日(土)
後期：7月24日（水）～**8月31日(土)**
会場：図書館旧館2階　慶應義塾史展示館　企画展示室

Now and Then 貨幣から見えてくる時代～新紙幣発行記念～
前期：7月8日（月）～ **8月6日（火）**
後期：8月20日（火）～ 9月21日（土）
会場：慶應義塾図書館展示室

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2024*年*9*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2024 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences

慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan